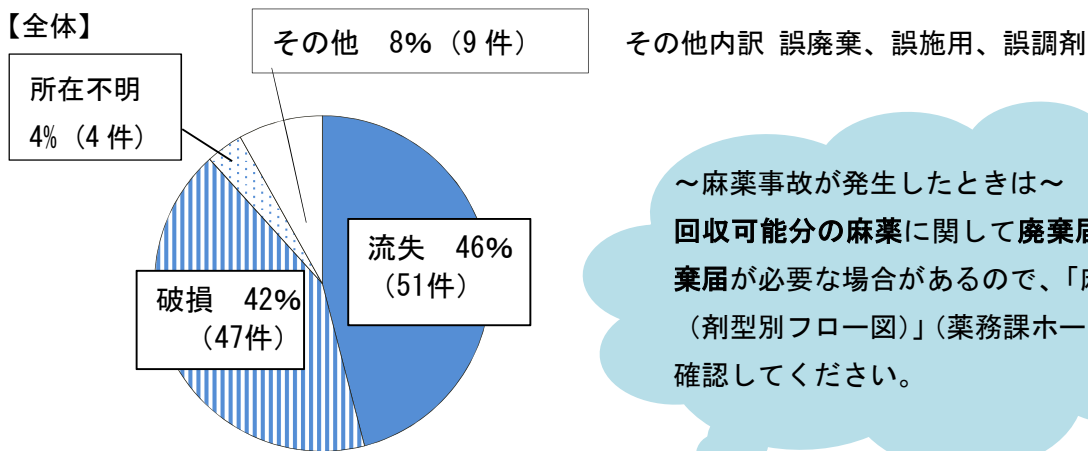


## 麻薬事故発生状況について

1 令和2年における麻薬事故届の件数 111件（病院・診療所105件、薬局6件）

2 事故種別件数（令和2年次）

【全体】



～麻薬事故が発生したときは～

回収可能分の麻薬に関して廃棄届や調剤済麻薬廃棄届が必要な場合があるので、「麻薬廃棄の手引き（剤型別フロー図）」（薬務課ホームページ掲載）を確認してください。

3 事例・対策

### 誤廃棄による麻薬事故の事例

#### 事例1 麻薬8錠が所在不明（病院）

内容：麻薬を調剤する際に、実在庫と帳簿上の在庫が合わなかった。前回調剤時、箱に端数が残っていたことに気が付かず空き箱として廃棄してしまった可能性が高い。麻薬の空き箱等は、中身を確認し裁断してから廃棄することになっていたが怠った。

対策：使用した麻薬を麻薬金庫に戻す際に、実在庫と帳簿を再度確認する。  
麻薬の空箱を廃棄する際は、中身をよく確認してから廃棄する。

### 麻薬廃棄届を提出しなかったため麻薬事故届となった事例

#### 事例2-① 麻薬1Aを誤廃棄（病院）

内容：本来麻薬原液投与のところ誤って生食に溶解してしまい使用できなくなった。麻薬廃棄届を提出せず、看護師が自己判断で放流廃棄してしまった。

#### 事例2-② 麻薬2枚を誤廃棄（病院）・・・期限切れ麻薬は調剤済麻薬と廃棄の取り扱いが異なります！

内容：期限切れの麻薬を、麻薬廃棄届を提出せず病院スタッフのみで破棄してしまった。

対策：麻薬の取扱いについて再教育を実施する。（廃棄の手順の再確認等）

### 誤施用による麻薬事故の事例

#### 事例3 麻薬7個を誤施用（病院）

内容：期限切れの麻薬を患者に施用してしまった。健康被害はなかった。

対策：定期的に麻薬の使用期限を確認する。

使用期限の短い麻薬の一覧表を作成する等、麻薬の期限・在庫管理の体制を見直す。

事故が発生した際は、速やかに管轄の保健所へご相談ください。